

水と土の芸術祭に向けて『のぞきからくり』補修のために一時解体



▲ レンズから、語りに合わせて展開する押絵を観賞して楽しむ「のぞきからくり」

3月17日、巻郷土資料館に展示してある『のぞきからくり』の解体作業が行われました。これは、7月18日から市内各地を会場に開催される「水と土の芸術祭」に出品するための補修作業を行うと、一時的に解体されたものです。『のぞきからくり』とは、大正年間を中心に、明治から昭和初期にかけて一般大衆に親しまれた大道芸の一つです。水と土の芸術祭では、のぞきからくりは再び、大正ロマンの世界に私たちをいざなってくれることでしょう。

さくらジャパン（女子ホッケー日本代表）西蒲区役所を訪問



▲ 目指せ金メダル！がんばれ！さくらジャパン！

3月23日、女子ホッケー日本代表チームの候補選手ら13人が、西蒲区役所を訪問しました。これは、同チームの強化合宿が城山運動公園多目的広場を会場に行われていたことによるものです。安田ヘッドコーチは、「このすばらしい環境で鋭気を養い、チーム力をさらに向上させたい。そして、ロンドンオリンピックでは、メダル獲得を目指してがんばります」とあいさつ。速水前西蒲区長は、「西蒲区のおいしいものをたくさん食べてがんばってください」とエールを送りました。

西蒲区と南区の架け橋「両郡橋」が開通



▲ 両郡橋、開通！

3月29日、中之口地区（六分）と南区清水を結ぶ「両郡橋」の開通式典（両郡橋開通式実行委員会主催）が行われました。これは、現在ある両郡橋の老朽化により、平成6年から進められていた架け替え工事が、このほど完成したことによるものです。式典中は、雪が降るなど天候には恵まれませんでしたが、住民による渡り初めが始まると青空が顔をのぞかせるなど、自然によるすばらしい演出もありました。中ノ口川に架かるこの両郡橋は、これからも多くの人たちを安全に対岸へと導いてくれることでしょう。

今年のナンバーワンチームはどこだ!? 潟東地区恒例の駅伝大会を開催



▲ タスキを運び健脚を競う、恒例の駅伝大会

3月29日、潟東地区内をコースとした「潟東地区各字訪問駅伝大会」（同地区スポーツ振興会主催）が今年も開催されました。今大会の参加者は、区内外から15チーム約150人。中学生から70代まで、様々な年齢層の選手が、「タスキを一番につなぎたい」という思いを胸に、7区間を全力で駆け抜けていました。

【大会結果】
優勝 潟東中学校野球部B
準優勝 新潟医療福祉大学
第3位 県央マスターズ

地域コミュニティ推進フォーラム 角田コミ協が活動事例発表



▲ 角田地区コミュニティ協議会による次の地域の宝物探しは、もうすでに始まっています。

3月29日、地域コミュニティの活性化を図るため、「地域コミュニティ推進フォーラム」を企画と協働によるまちづくりを西川多目的ホールで開催しました。市内には、それぞれの地域でまちづくりの母体となる地域コミュニティ協議会（以下、コミ協）が結成されており、様々な活動を行っています。当日は、今後の活動の参考にしてみらおうと、8つの区からコミ協ずつが参加し、子育て・教育、歴史・文化、環境など5つの分野で活動事例の発表を行いました。西蒲区からは、角田地区コミ協が発表。昔、同地区で行われていた海水を使った塩づくりを地域と小学校が協働で再現し、地域の伝統文化を掘り起こした事例などを紹介しました。